



ロケール管理

- [ロケール管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ロケール要件の管理 \(2 ページ\)](#)
- [IM and Presence Service へのロケール インストーラのインストール \(3 ページ\)](#)

ロケール管理の概要

複数の言語をサポートする Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスを設定できます。インストール可能なサポート言語の数に制限はありません。

www.cisco.com には、ロケール固有のバージョンの Cisco Unified Communications Manager のロケール インストーラと IM and Presence サービスのロケール インストーラが用意されています。このロケール インストーラはシステム管理者がインストールします。このインストーラを使用すると、ユーザがサポートされているインターフェイスを使用するときに、選択した翻訳済みテキストまたはトーン（使用可能な場合）を表示または受信できます。

Cisco Unified Communications Manager または IM and Presence Service をアップグレードした後で、すべてのロケールを再インストールする必要があります。Cisco Unified Communications Manager ノードまたは IM and Presence Service ノードの major.minor バージョン番号と一致する、最新バージョンのロケールをインストールしてください。

クラスタの各ノードに Cisco Unified Communications Manager をインストールし、データベースをセットアップしてから、ロケールをインストールします。IM and Presence Service ノードで特定のロケールをインストールする場合は、最初に Cisco Unified Communications Manager のクラスタで同じ国の Cisco Unified Communications Manager のロケール ファイルをインストールする必要があります。

ソフトウェアのアップグレードが完了した後に、Cisco Unified Communications Manager のノードと IM and Presence サービス ノードでロケールをインストールするには、次の項の情報を使用します。

ユーザ ロケール

ユーザ ロケール ファイルは、特定の言語と国に関する言語情報が含まれます。ユーザ ロケール ファイルは、ユーザが選択したロケールの電話機表示用の翻訳済みテキストとボイス プロンプト（使用可能な場合）、ユーザ アプリケーション、および Web ページを提供します。これらのファイル名の表記は、次のとおりです。

- `cm-locale-language-country-version.cop` (Cisco Unified Communications Manager)
- `ps-locale-language_country-version.cop` (IM and Presence Service)

システムでユーザ ロケールのみが必要な場合は、CUCM ロケールをインストールした後でそれをインストールします。

ネットワーク ロケール

ネットワーク ロケール ファイルは、電話トーン、Annunciator、ゲートウェイ トーンなど、さまざまなネットワーク項目の国固有のファイルを提供します。複合ネットワーク ロケール ファイル名の表記は、次のとおりです。

- `cm-locale-combinednetworklocale-version.cop` (Cisco Unified Communications Manager)

1つのロケールインストーラに複数のネットワーク ロケールが組み合されている場合があります。



(注) シスコ認定の顧客が提供するサーバ上の Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service は、複数のロケールをサポートします。複数のロケールインストーラをインストールすることにより、ユーザは複数のロケールから選択できるようになります。

ロケール ファイルは、ソフトウェア アップグレードをインストールする場合と同じプロセスを使用して、ローカル ソースまたはリモート ソースからインストールできます。クラスタの各ノードに、複数のロケール ファイルをインストールできます。クラスタ内のすべてのノードをリブートしないと、変更は有効になりません。クラスタ内のすべてのノードですべてのロケールのインストールが終了するまで、ノードをリブートしないように強くお勧めします。通常の業務時間後にノードをリブートして、コール処理の中断を最小限にとどめてください。

ロケール要件の管理

ロケールのインストールに関する考慮事項

- ロケールをインストールする前に、すべての Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service のクラスタ ノードをインストールして、データベースを設定します。

- IM and Presence Service ノードで特定のロケールをインストールする場合は、最初に Cisco Unified Communications Manager のクラスタで同じ国の Cisco Unified Communications Manager のロケール ファイルをインストールする必要があります。
- クラスタの各ノードに、複数のロケール ファイルをインストールできます。新しいロケールをアクティブにするには、インストール後にクラスタの各ノードを再起動する必要があります。
- ロケール ファイルは、ソフトウェア アップグレードをインストールする場合と同じプロセスを使用して、ローカルソースまたはリモートソースからインストールできます。ローカルソースまたはリモートソースからのアップグレードの詳細は、*Cisco Unified Communications Manager アップグレードガイド* を参照してください。

IM and Presence Service へのロケール インストーラのインストール

- IM and Presence Service 用のロケールをインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager にロケールインストーラをインストールします。英語以外のロケールを使用する場合は、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence Service の両方に適切な言語インストーラをインストールする必要があります。
- IM and Presence Service クラスタに複数のノードがある場合は、ロケールインストーラがクラスタ内のすべてのノードにインストールされていることを確認します（サブスクリイバノードの前に IM and Presence データベース パブリッシュャ ノードにインストールします）。
- 適切なすべてのロケール インストーラが両方のシステムにロードされるまで、ユーザ ロケールを設定しないでください。ロケールインストーラが Cisco Unified Communications Manager にロードされた後であっても、IM and Presence Service にロードされる前にユーザがユーザロケールを設定してしまうと、問題が発生することがあります。問題が報告された場合は、各ユーザに対し、Cisco Unified Communications Self Care Portal にサインインし、ロケールを現在の設定から [英語 (English)] に変更してから適切な言語に戻すように指示することを推奨します。BAT ツールを使用してユーザ ロケールを適切な言語に同期することもできます。

手順

- ステップ 1** `cisco.com` に移動し、IM and Presence Service 用のバージョンのロケールインストーラを選択します。 <http://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=285971059>
- ステップ 2** 作業環境に適した IM and Presence ロケール インストーラのバージョンをクリックします。
- ステップ 3** ファイルをダウンロードしたら、ハードドライブに保存し、ファイルの保存場所をメモします。

- ステップ 4** SFTP をサポートするサーバにこのファイルをコピーします。
- ステップ 5** 管理者のアカウントとパスワードを使用して Cisco Unified IM and Presence オペレーティングシステムの管理にサインインします。
- ステップ 6** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] > [インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。
- ステップ 7** ソフトウェアの入手先として [リモート ファイル システム (Remote File System)] を選択します。
- ステップ 8** [ディレクトリ (Directory)] フィールドにファイルの保存場所 (/tmp など) を入力します。
- ステップ 9** [Server (サーバ)] フィールドに IM and Presence Service のサーバ名を入力します。
- ステップ 10** [ユーザ名 (User Name)] フィールドと [ユーザ パスワード (User Password)] フィールドに自分のユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 11** [転送プロトコル (Transfer Protocol)] で [SFTP (SFTP)] を選択します。
- ステップ 12** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 13** 検索結果のリストから IM and Presence サービス ロケール インストーラを選択します。
- ステップ 14** [次へ (Next)] をクリックして、インストーラ ファイルをロードし、検証します。
- ステップ 15** ロケールのインストールが完了したら、クラスタ内の各サーバを再起動します。
- ステップ 16** インストールされるロケールのデフォルト設定は、「英語 (米国) (English United States)」です。IM and Presence Service ノードの再起動中に、必要に応じて、ダウンロードしたインストーラのロケールに合わせてブラウザの言語を変更してください。
- ステップ 17** ユーザがサポートされている製品のロケールを選択できることを確認します。
- ヒント** クラスタ内のすべてのサーバに同じコンポーネントをインストールしてください。

エラーメッセージロケールリファレンス

ロケールインストーラをアクティブ化するときに発生する可能性のあるメッセージの説明については、次の表を参照してください。エラーが発生した場合は、インストールログにあるメッセージを表示できます。

表 1: ロケール インストーラのエラーメッセージと説明

メッセージ	説明
[LOCALE] File not found: <language>_<country>_user_locale.csv, the user locale has not been added to the database.	データベースに追加するユーザロケール情報が格納されている CSV ファイルが見つからない場合にこのエラーが発生します。これはビルドプロセスのエラーを示しています。

メッセージ	説明
<p>[LOCALE] File not found: <country>_network_locale.csv, the network locale has not been added to the database.</p>	<p>データベースに追加するネットワーク ロケール情報が格納されている CSV ファイルが見つからない場合にこのエラーが発生します。これはビルドプロセスのエラーを示しています。</p>
<p>[LOCALE] CSV file installer installdb is not present or not executable</p>	<p>installdb と呼ばれるアプリケーションが存在することを確認する必要があります。このアプリケーションは CSV ファイルに含まれる情報を読み取り、それをターゲットデータベースに正しく適用します。このアプリケーションが見つからない場合、Cisco Unified Communications アプリケーションとともにインストールされなかった（ほとんどあり得ません）、削除された（可能性はあります）、またはノードに Cisco Unified Communications Manager や IM and Presence Service などの Cisco Unified Communications アプリケーションがインストールされていません（最も可能性ががあります）。データベースに適切なレコードが格納されていないとロケールは機能しないため、ロケールのインストールは中止されます。</p>
<p>[LOCALE] Could not create /usr/local/cm/application_locale/cmservices/ipma/com/cisco/ipma/client/locales/maDialogs_<ll>_<CC>.properties.Checksum.</p> <p>[LOCALE] Could not create /usr/local/cm/application_locale/cmservices/ipma/com/cisco/ipma/client/locales/maMessages_<ll>_<CC>.properties.Checksum.</p> <p>[LOCALE] Could not create /usr/local/cm/application_locale/cmservices/ipma/com/cisco/ipma/client/locales/maGlobalUI_<ll>_<CC>.properties.Checksum.</p> <p>[LOCALE] Could not create /usr/local/cm/application_locale/cmservices/ipma/LocaleMasterVersion.txt.Checksum.</p>	<p>これらのエラーは、システムがチェックサムファイルの作成に失敗した場合に発生します。原因としては、Java 実行ファイルの /usr/local/thirdparty/java/j2sdk/jre/bin/java が存在しない、Java アーカイブファイルの /usr/local/cm/jar/cmutil.jar が存在しないか損傷している、Java クラスの com.cisco.ccm.util.Zipper が存在しないか損傷していることなどが考えられます。これらのエラーが発生する場合でも、Cisco Unified Communications Manager Assistant を除いてロケールは引き続き正常に動作します。この場合、Cisco Unified Communications Manager Assistant では、ローカライズされた Cisco Unified Communications Manager Assistant ファイルの変化を検出できません。</p>
<p>[LOCALE] Could not find /usr/local/cm/application_locale/cmservices/ipma/LocaleMasterVersion.txt in order to update Unified CM Assistant locale information.</p>	<p>このエラーは、適切な場所にファイルが見つからない場合に発生します。原因としては、ビルドプロセスのエラーが考えられます。</p>

メッセージ	説明
[LOCALE] Addition of <locale-installer-file-name> to the database has failed!	このエラーは、ロケールのインストール時に発生した何らかの失敗が累積されたために発生します。最終状態を示しています。
[LOCALE] Could not locate <locale-installer-file-name>	このロケールはアップグレード中移行されません。 ダウンロードされたロケール インストーラ ファイルは、ダウンロード ロケーションに置かれていません。移動または削除された可能性があります。このエラーのシビラティ（重大度）は低く、Cisco Unified Communications アプリケーションのアップグレード後にロケール インストーラを再適用するか、新しいロケール インストーラをダウンロードして適用する必要があることを示します。
[LOCALE] Could not copy <locale-installer-file-name> to migratory path. This locale will not be migrated during an upgrade!	ダウンロードされたロケール インストーラ ファイルを移行パスにコピーできません。このエラーのシビラティ（重大度）は低く、Cisco Unified Communications アプリケーションのアップグレード後にロケール インストーラを再適用するか、新しいロケール インストーラをダウンロードして適用する必要があることを示します。
[LOCALE] DRS unregistration failed	ロケール インストーラはディザスタリカバリ システムから登録解除できませんでした。バックアップまたはリストア レコードにはロケール インストーラは含まれません。インストールのログを記録して、Cisco TACにお問い合わせください。
[LOCALE] Backup failed!	ディザスタリカバリ システムは、ダウンロードされたロケール インストーラ ファイルから tarball を作成できませんでした。バックアップを試みる前に、ローカル インストーラを再適用してください。 (注) システムの復元後にロケールを手動で再インストールすることもできます。

メッセージ	説明
[LOCALE] No COP files found in restored tarball!	バックアップファイルの破損によって、ロケールインストーラファイルの抽出が失敗した可能性があります。 (注) ロケールインストーラを手動で再適用すると、ロケールが完全に復元されます。
[LOCALE] Failed to successfully reinstall COP files!	バックアップファイルの破損によって、ロケールインストーラファイルが損傷した可能性があります。 (注) ロケールインストーラを手動で再適用すると、ロケールが完全に復元されます。
[LOCALE] Failed to build script to reinstall COP files!	プラットフォームで、ロケールの再インストールに使用されるスクリプトを動的に作成できませんでした。 (注) ロケールインストーラを手動で再適用すると、ロケールが完全に復元されます。インストールのログを記録して、TACにお問い合わせください。

ローカライズされたアプリケーション

IM and Presence Service アプリケーションはさまざまな言語をサポートします。ローカライズされたアプリケーションおよび使用可能な言語のリストについては、次の表を参照してください。

表 2: ローカライズされたアプリケーションおよびサポートされる言語のリスト

インターフェイス	サポートされている言語
管理アプリケーション	
Cisco Unified CM IM and Presence の管理	中国語（中国）、英語、日本語（日本）、韓国語（韓国）
Cisco Unified IM and Presence オペレーティングシステム	中国語（中国）、英語、日本語（日本）、韓国語（韓国）

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。